



東京医療保健大学大学院 千葉看護学研究科看護学専攻

大学院案内 2027

Department of Nursing Chiba Postgraduate School of Nursing

連携する力が求められる今、高度専門職業人として

実践を牽引・指導する人材の育成をめざします



研究科長 メッセージ

宮本 千津子

少子超高齢社会を迎え、日本は保健医療の質を維持するため地域包括ケアシステムを選択しました。これにより、今まで以上に多職種・多機関での連携が必要とされています。地域包括ケアの考え方では専門分野に応じた機能分化が促進されます。だからこそ、他機関や職種と確かに連携・協働し、保健医療サービスを必要とする人々、すなわち患者さんやそのご家族、地域住民の方々が、制度に振り回されることなくスムーズに移行し、健康な生活を営むためのケアを受けられるようにすることが必要です。

その一方で、広範囲に被害を及ぼす災害やCOVID-19感染拡大のような危機が今後も発生することが予測されています。これまで想像もしていなかった新たな課題に取り組むためには、人々がもつ多様な強みを活かしあうことが不可欠であり、これもまた連携・協働です。

東京医療保健大学千葉看護学研究科では、多職種で担うケアにおいて看護に求められる機能と示すべきアウトカムを明確にし、DXも含めシステムを効果的に活用し人々をつなぐとともに、こういった実践を牽引・指導することのできる高度専門職業人の育成をめざした講義・演習と、社会実装できる研究の指導を行っています。

病院、訪問ステーション、高齢者施設、保健所、学校等で看護に携わり、人々の多様なニーズに応えるための効果的な連携とは何か、どうしたらできるのかを学び、発展させたいと考える皆さんにぜひ入学していただき、科学的・理論的に現場の課題を整理・分析して、より効果的な実践を創造する力を獲得していただきたいと期待しています。

目次

- 01 研究科長 メッセージ
- 02 学位授与方針 / 教育課程編成方針 / 入学者受入方針
- 03 科目一覧・カリキュラムマップ / 履修モデル
- 04 コアとなる科目 / 大学院担当教員
- 05 Campus Life / 在学生・修了生メッセージ / 入試概要 / 学生納入金 / 教育訓練給付制度 / 奨学金制度
- 06 よくある質問 / 理事長・学長メッセージ

本研究科は地域包括ケアシステムにおいて看護の本質を掴む能力を有し、
多種多様な医療福祉機関と人々を繋ぐことができ、
地域社会における看護機能を推進する研究を実施し、
成果を示す能力を有する高度専門職業人を育成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）

千葉看護学研究科で育成する人材像は、組織・チームでの実践を牽引・指導することのできる高度専門職業人として、看護の本質を「**掴む**」能力、一人ひとりに必要な保健医療福祉機関、人々等を「**繋ぐ**」能力、社会実装に向けて研究を実施し、成果を「**示す**」能力を有する人材です。

掴む
(つかむ)

多職種で担うケアシステムの構築・発展において、看護ならではの本質を「**掴む**」力

繋ぐ
(つなぐ)

高度に機能分化したケアシステムを俯瞰し保健医療福祉機関や専門職を「**繋ぐ**」力

示す
(しめす)

地域包括ケアの時代に期待される看護機能の推進に向けた研究を行い「**示す**」力

教育課程編成方針（カリキュラムポリシー：CP）

- 1 高度な看護実践の基盤となる理論的学際的知識や、看護の機能推進が資する現代的課題を広く探索し解決することに関する知識を扱う科目を共通科目（11科目）として配置する。
- 2 看護機能の実践と推進に関する知識・技術をその特徴に応じて学ぶとともに、科学的根拠をもって発展させることに関する科目を専門科目（10科目）として配置する。
- 3 特別研究（修士論文）では、既習の内容と研究の体系的なレビューから研究課題を見出し、科学的根拠を論理的に整え、組織や保健医療の現場に実装可能な研究成果を示す研究活動を行う。

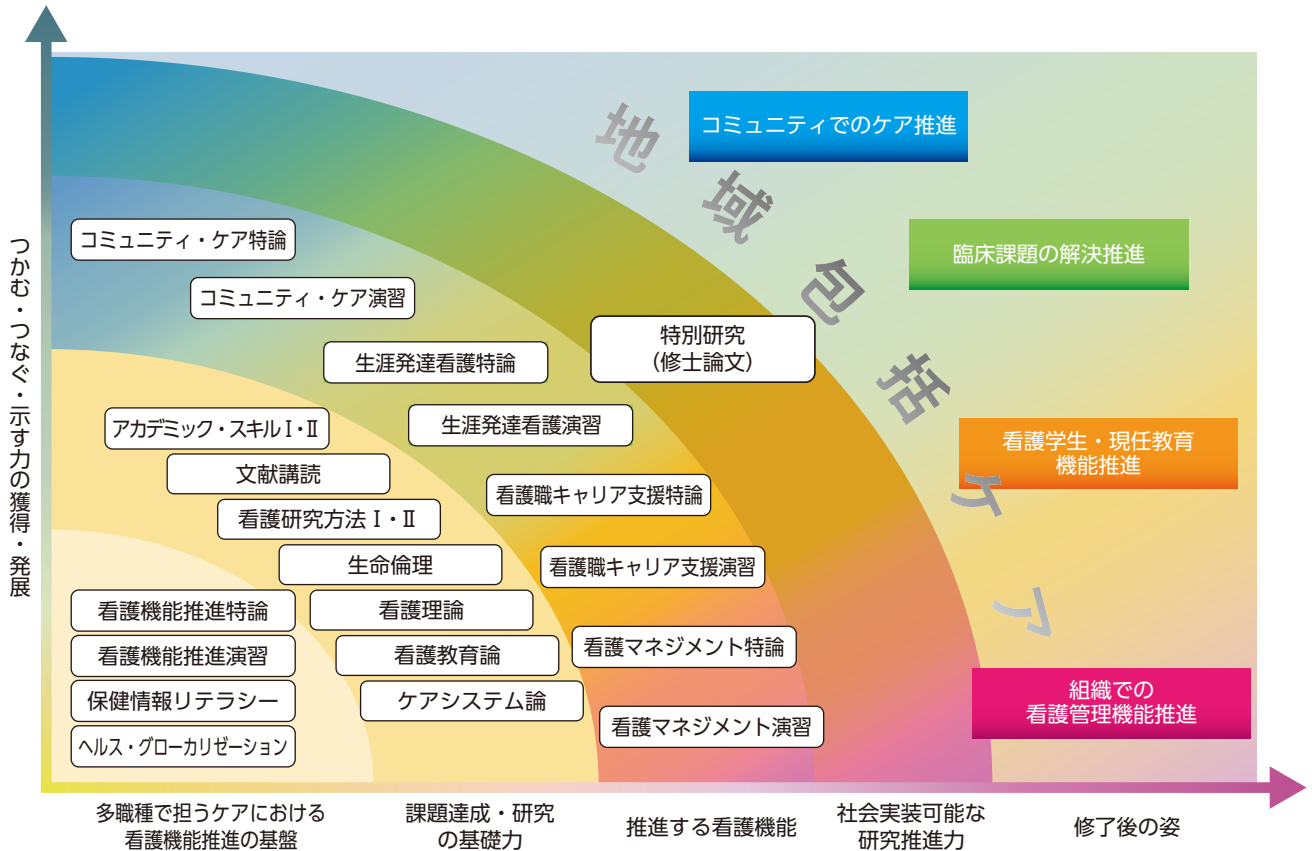
入学者受入方針（アドミッションポリシー：AP）

- 1 専門分野の知識・経験を持ち、看護学に関する基礎的知識、実践を概念化する思考能力の基礎を備えていること。
- 2 多様な組織・地域・社会へ働きかける態度と資質を有し、ケアの視点を拡げて他職種と協働する力の統合を志していること。
- 3 地域社会のテーマに沿った研究計画を立案し、実施する姿勢を持ち、論理的思考を研鑽していく意欲を有していること。

科目一覧・カリキュラムマップ

多職種で担うケアの推進に必要な知識・スキルに呼応したカリキュラム

地域包括ケアの時代において、多職種と連携し看護の機能を推進する基盤となる科目をコアとし、加えて、高度専門職業人として実践を牽引・指導するための知識とスキルを講義、演習、研究を通して学びます。



履修モデル

一人ひとりが推進をめざす看護機能に応じた4つの履修モデル

推進したい看護の機能に応じて、コミュニティ・ケア（地域におけるケアの推進）、生涯発達看護（臨床における課題の解決）、看護職キャリア支援（学生・現任への教育機能の推進）、看護マネジメント（組織での看護管理実践）から複数の科目を選択履修することができます。授業は週末および連休期間等に開講、また、インターネットを使った遠隔授業・研究指導で働きながら修士号が取得できる履修スケジュールと学修スタイルです。

()内は単位数 各モデル計30単位

単位	科目区分	1年次		2年次		
		前期	後期	前期	後期	
(8単位) 必修科目	全モデル共通	共通科目	看護機能推進特論(2) ヘルス・グローカリゼーション(1) 文献講読(1)	看護機能推進演習(2) 保健情報リテラシー(1) ヘルス・グローカリゼーション(1) 文献講読(1)		
	専門科目	看護研究方法Ⅰ(1)				
	特別研究			特別研究(修士論文)(8)		
選択科目(14単位以上)	例1 退院支援看護師・訪問看護師・保健師等で地域関連の課題をもつ学生 コミュニティでのケア推進	共通科目	アカデミック・スキルⅠ(1) ケアシステム論(2)*	アカデミック・スキルⅡ(1)	生命倫理(2) 看護教育論(2)	
		専門科目	コミュニティ・ケア特論(2)* 看護マネジメント特論(2)	コミュニティ・ケア演習(2)*		
	例2 新卒者・若手看護師等の学士取得者で臨床課題をもつ学生 臨床課題の解決推進	共通科目	看護理論(2)	アカデミック・スキルⅡ(1)	生命倫理(2) 看護教育論(2)	
		専門科目	生涯発達看護特論(2)*	生涯発達看護演習(2)* 看護研究方法Ⅱ(1)*	コミュニティ・ケア特論(2)	
	例3 中堅看護師・看護学校教員等で現任・学生教育の課題をもつ学生 看護学生・現任教育機能推進	共通科目	看護教育論(2)* アカデミック・スキルⅠ(1)		看護理論(2)	
		専門科目	看護職キャリア支援特論(2)*	看護職キャリア支援演習(2)* 看護研究方法Ⅱ(1)	生涯発達看護特論(2) コミュニティ・ケア特論(2)	
	例4 看護管理に携わる看護職で、認定看護管理者の取得を考えている学生 組織での看護管理機能推進	共通科目	アカデミック・スキルⅠ(1)	アカデミック・スキルⅡ(1)	ケアシステム論(2)* 生命倫理(2)	
		専門科目	看護マネジメント特論(2)* 看護職キャリア支援特論(2)	看護マネジメント演習(2)*	生涯発達看護特論(2)	

*履修奨励科目

※履修内容により、公益社団法人日本看護協会の認定看護管理者認定審査受験資格要件に該当します

コアとなる科目

看護機能推進特論・演習

本科目は多職種が連携して担うケアにおける看護機能の推進を学ぶ基盤となるものです。特論では、人々の健康生活支援における看護独自の機能と推進における課題とを、多職種等との連携の視点から諸理論を用いて探索します。具体的には、少子超高齢社会における人々の健康課題と保健医療活動、地域包括ケアシステムを基盤とした個人や家族、集団、コミュニティに対する看護支援とその開発、看護機能の推進に要する看護職のキャリア発達をテーマにディスカッションをとおして学びます。

演習では、各自の関心に基づき、地域包括ケアシステムの一環として実施されている保健医療サービス活動に参加観察します。続いてこれを整理したうえでデータとし、看護独自の機能を分析、考察するとともに、当該活動の企画から実施までを評価し、改善計画を立案します。

コミュニティケア特論・演習

コミュニティケア特論・演習では、コミュニティやその中のグループ、そして構成員といった様々なレベルでの健康課題に焦点をあてます。特論では支援を組み立てるためのアセスメント等に必要となる概念や理論を学び、演習では、リプロダクティブ・ヘルスや精神保健、職域など個別の領域での看護支援やヘルスプロモーション活動に必要な理論等を学び、事例検討なども行います。

地域包括ケアの先にコミュニティの中のあらゆる人が含まれる地域共生社会が提唱される時代となりました。普段、集団を対象とする機会も多い保健師の方も、個人や家族を対象とすることが多い看護師の方も、普段の支援やケアを見直し、深めるとともに、これまで経験の少なかった事象に触れ、概念を学び、視野を広げることのできる科目です。

生涯発達看護特論・演習

生涯発達看護特論・演習は、地域社会で看護の対象となる人々を統合的存在として捉え、全生涯にわたる発達の観点から理解を深め、看護を必要としている対象に応じて系統的に看護実践できるスキルの習得をめざします。

特論では、人の生涯発達に関する諸理論等を概観するとともに、各生涯発達段階にある人とその家族、およびメンタルヘルスの理論的知識を学びます。演習では、既習の理論的知識を活用し、臨床で看護の対象となる人を理解し、地域社会における系統的な支援へとつなげる方法を学びます。これらの学びを通じ、看護の対象となる人々の特徴をとらえなおすこと、対象特性に応じた看護実践の基盤づくりをすること、様々な臨床課題の解決を推進し、地域社会の人々のニーズに応える看護実践をすることができます。

看護職キャリア支援特論・演習

Career Developmentという言葉は、組織の側からは、キャリア開発という用語で、個人の側からキャリア発達という用語で論じられています。看護職キャリア支援特論と看護職キャリア支援演習は、この二つの視点の特徴を検討しながら、千葉看護学研究所の目指す「看護機能を推進する」という新たな視点を加えて、キャリア支援について学ぶ科目です。

特論では、キャリア論、組織行動論、高等教育論、生涯学修論といった理論的知識をディスカッションしながら学び、演習では、教育プログラムを企画、実施、評価してみる経験をしながら学んでいきます。看護職の教育を担う方、看護補助者も含めた看護職の現任教育や人材育成に取り組んでいる方とともに、さまざまなディスカッションをしながら、一緒に学びましょう。

看護マネジメント特論・演習

看護マネジメント特論では、人材をはじめとする各種の資源を創造的に活用し、組織としての成果を達成・向上させることの意義と方法について、看護や関連学問の理論、最新の研究結果、および自組織や公開された管理事例を通して学びます。特に、地域包括ケアシステムを促進するという方針のもと、看護がその機能を果たすことに貢献できるマネジメントのありようを探索します。

演習においては、多職種・機関との連携に関する組織開発・運営、人材育成・活用、医療安全・危機管理、システム構築等をテーマとしたケースを用いたケースメソッドによる演習を行います。これにより、達成したい成果に向かって理論を活用しようとする際に収集するべき具体的なデータやその分析、および成果の示し方を学びます。

特別研究

先行研究の系統的レビューにより研究課題を明確にして研究を行い、学位論文を作成します。この過程を通して、看護機能の推進に貢献する社会実装をめざした研究を実践する能力を育成します。

指導教員・研究指導内容



宮本 千津子

看護職を含む組織の管理実践に関する研究課題



阿部 恭子

がん患者とその家族の看護実践に関する研究課題



大熊 恵子

精神障害とともに生きる人とその家族への看護実践に関する研究課題



篠木 絵理

小児とその家族の看護実践に関する研究課題



清水 準一

コミュニティケアにおける実践および政策に関わる研究課題



田久保 由美子

小児および家族の看護実践に関する研究課題



土肥 眞奈

高齢者看護および循環器看護に関する研究課題



吉田 澄恵

看護職キャリア支援および臨床看護実践に関する研究課題

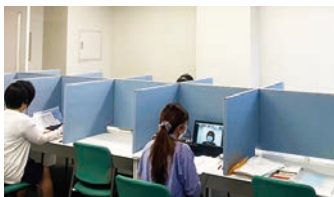
大学院担当教員

伊藤 美千代 / 伊能 美和 / 大河原 知嘉子 / 大西 淳子 / 勝本 祥子 / 菊池 有紀 / 鈴木 みゆき / 田所 由利子 / 田中 由美子 / 八鍬 類子 / 山本 三希子 / 劉 彦 (特別研究指導教員を除く、五十音順)

Campus Life

大学院生室

大学院生専用の部屋があります。



ICT環境

1人1台のノートパソコンが貸与され、遠隔授業に対応します。



図書館

豊富な情報源を使い学修・研究を進めることができます。



研究支援

研究のための費用を支援しています。

年間30,000円
(在学期間2年：最大60,000円)

※学内では無線LANが整備されており、どこに居ても学修に取り組みます。

在学生・修了生メッセージ

大学院では、臨床での看護実践を振り返り理論的知識と結びつけながら学ぶことで、自分の実践や思考を言葉で表現する力が身につけてきました。また、自分が働いている組織の外にも目を向けた地域で求められる看護や、今後の保健医療システムについて考えることで視野が広がっていると感じます。特別研究では指導教員のもと、臨床での疑問を明確にし、今は研究結果が出るのを楽しみに取り組んでいます。働きながらの学びは大変なこともあります。土曜日を学修日にすると決めてメリハリをつけています。多様なキャリアや背景を持つ同期もかけがえのない存在です。



2年 京河 祐衣

大学院では、ビジネス書を通じたマネジメントの学修や、病院にとどまらず、地域・国・世界といったさまざまなレベルでの保健医療についても学んでいます。そして、看護の機能を果たすためにできることは何かについて、バックグラウンドが異なる院生とディスカッションを重ねることで、自身の視野を広げ、改めて看護と向き合う貴重な機会となりました。入学当初は仕事との両立に不安がありましたが、授業で学んだ内容が日々の臨床の場とつながることが多く、両立することのメリットを実感しています。同期と親交を深め、互いに支え合いながら学びを続けています。



修了生 林 美代子

入試概要

課程	名称	出願対象者	募集人員	選考方法	出願期間	試験日	合格発表
修士課程	一般入試 秋季入試	社会人	8名	学力試験、面接、出願書類を総合的に判定して選考	2026年 8月17日(月)~9月4日(金)	2026年 9月19日(土)	2026年 9月29日(火)
	一般入試 春季入試				2027年 1月4日(月)~1月18日(月)	2027年 1月30日(土)	2027年 2月16日(火)

入学検定料

35,000円

選考方法

学力試験、面接、および書類審査等を総合して行います。

試験会場

東京医療保健大学 船橋キャンパス

学生納入金

(単位：円)

	1年目		2年目	合計
	前期納入金額	後期納入金額		
入学金	500,000	0	0	500,000
授業料	500,000	500,000	1,000,000	2,000,000
その他費用	84,500	0	4,500	89,000
学納金合計	1,084,500	500,000	1,004,500	2,589,000

教育訓練給付制度

厚生労働大臣より「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）」の対象講座として指定を受けています。働く人の主体的で中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図る雇用保険の給付制度です。教育訓練経費の最大80%に相当する額をハローワークが支給します。受給資格や申請方法等、詳細は厚生労働省のホームページをご確認の上、お住まいの住所を管轄するハローワークにお問い合わせください。

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

- 種類 第一種（無利子貸与）：貸与額 月額50,000円、88,000円から希望により選択可能
第二種（有利子貸与）：貸与額 月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択可能
- 募集時期 毎年春
- 選考方法 本学の選考を経た後、当該機構の審査により採用が決定します。

よくある質問

- Q** 現在病院で勤務をしていますが、実際に勤務と両立しながらの通学は可能ですか？
- A** 講義は主に週末や連休期間等、webを用いた遠隔授業で開講しているため働きながら履修が可能です。
- Q** 地域連携に関する実践経験が必要でしょうか？
- A** 本研究科は経験内容や年数による受験制限はありません。所属分野に関わらず、多職種・多機関で担うケアの学修・開発に関心のある方をお待ちしています。
- Q** 研究したい課題がなければ受験できないと聞いたのですが、研究テーマは必要ですか？
- A** 研究テーマを出願時に必須とする大学院もありますが、本研究科では、日頃の実践で課題と感じていることを研究の出発点と考えています。入学後に教員と相談しながら、それを研究課題へと発展させていくことができます。
- Q** 大学卒業者ではないと受験はできないのでしょうか？
- A** 個別の出願資格審査により、本学が大学卒業者と同等の学力があると認めた方であればどなたでも受験は可能です。
- Q** 学力試験はどのようなことが問われるのですか？
- A** 研究論文（日本語）の読解と実践フィールドにおける課題の論述が含まれます。

理事長・学長メッセージ

東京医療保健大学 理事長 田村 聡明

昨年度、理事長に就任しました田村聡明と申します。開学から21年、本学初代理事長が掲げた建学の理念、教育目標を引継ぎ、未来に向け新しい東京医療保健大学と一緒に作っていきましょう。日本は2035年に、団塊の世代が85歳以上となり、人口における高齢者は3割以上、高まる介護需要に対しての人材不足や、現役世代の減少による経済の縮小など、さまざまな社会問題が複合的に表面化すると予測されています。社会サービスやインフラにも大きな影響があるでしょう。しかし、私は「教育の力」を信じています。医療保健の分野は、人間が人間らしく生きることを支援する大事な役割を担っています。その役割は、社会的な需要とともに、益々大きくなることは間違いなく、その責務を果たすためにも、多様な考え方や価値観を受容する心（知性）と他者への思いやり（人間性）を兼ね備える必要があります。その心を育てるのが教育で、その心こそが、これからの日本を支える大切なものです。



本学は、学部開設にあたり、地域で信頼の厚い基幹病院との連携を何よりも大切にしてきました。地域の基幹病院は、救急救命をはじめ、さまざまな分野を最前線で学ぶことが出来る最適な場所であり、実践力を鍛える場として、もっとも有効な場所でもあります。世の中は常に変化し、医療に関わる技術も絶えず進化しています。常に学び続ける姿勢も重要ですが、それに対応出来る学びの環境も重要で、日本臨床現場での実践活動を教育に活かすためにも、病院連携を軸に現場教育を通して、医療職の育成に取り組んでいます。

また、本学の学部・学科は、どれもが未来の医療を見据えたものです。「国際看護」や「災害看護」の副専攻から、「地域包括ケア」の推進に伴う「在宅医療」や「訪問看護」を担える医療専門職の育成まで、幅広く取り組みを続けています。

さらに、本学大学院では、医師と協働し、病院や地域で包括的ケアの中心的役割を担える「診療看護師（NP）」も養成しています。学部や大学院の学びの広がり、多様な学びを広げていく機会ともなり、卒業生がさまざまな医療機関において、それぞれの専門分野で活躍しています。

東京医療保健大学 学長 亀山 周二

超少子高齢社会が進む中で、地域医療や介護の現場では患者さんやご家族の価値観や生活の多様化が進んでいます。こうした変化に対応できる地域医療に強い看護専門職が社会から求められています。医療自体も「治す医療」から「治し支える医療」への転換が謳われています。こうしたニーズに応えるため、本学では令和3年（2021年）4月に、大学院千葉看護学研究科を開設しております。



医療保健の現場では看護の力はとても大きく、人々の“暮らし”そのものを支えているといっても過言ではありません。地域包括ケアシステムとは、“地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制”と定義されております。地域医療機能推進機構（JCHO）と連携している大学院千葉看護学研究科では、この地域包括ケアを地域に合った形で展開し、地域を担う高度専門看護職の育成を目指しています。

これまで、仕事を続けながらも熱心に研究テーマに取り組まれた修了生34名（一期生から四期生）はすで、各地でご活躍されています。学びの工夫として、土・祝日の講義・演習や連休を利用した集中講義、それにオンラインによる遠隔授業・討論など取り入れています。熱意と実績のある優秀な教育スタッフが皆さんを親身に指導し支援しております。

大学卒業（学部卒）だけではなく専門学校卒業後の方も本学の大学院で修士の学位を取得できます。ご自身のこれからのスキルアップやキャリアアップに役立つことは間違いありません。

どうぞ、皆さん、安心して本学研究科での学びにご参加ください。

大学院説明会および個別相談会

予約制 8/1(土)・11/21(土) 会場:船橋キャンパス オンライン同時開催

※説明会の詳細およびお申込み方法は別途ホームページに掲載します。

ご相談は、随時受け付けております。

メール chiba-master@thcu.ac.jp

電話 047-495-7751 (平日9:00 ~ 17:00)

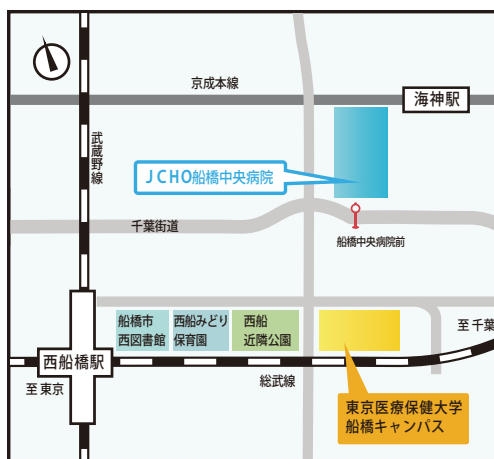
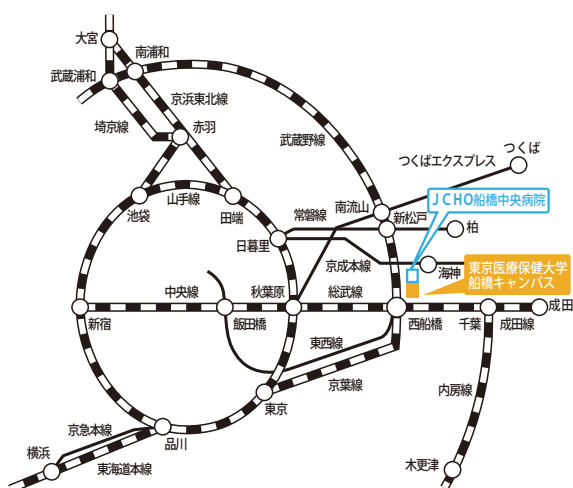
大学院 HP



大学院紹介動画



Campus Access



大学基準適合認定

東京医療保健大学は、2025年度に公益財団法人大学基準協会の評価の結果、同協会の大学基準に適合していると認定されました。認定期間は、2026年4月1日より7年間(2033年3月末日まで)となります。

東京駅	30分	武蔵野線ほか	西船橋駅
新宿駅	40分	中央・総武線ほか	
大宮駅	60分	埼京線ほか	
成田駅	60分	成田線ほか	
つくば駅	60分	つくばエクスプレスほか	
木更津駅	60分	京成本線ほか	

船橋キャンパス

千葉県船橋市海神町西1丁目1042番地2

- JR総武本線・武蔵野線・京葉線、東京メトロ東西線、東葉高速鉄道 西船橋駅下車 北口より徒歩12分
- 京成本線 海神駅下車 徒歩7分



東京医療保健大学大学院 千葉看護学研究科

〒273-8710 千葉県船橋市海神町西1丁目1042番地2
TEL : 047-495-7751 E-mail : chiba-master@thcu.ac.jp
<https://www.thcu.ac.jp>